

JICA 教師海外研修 学習指導案・授業実践報告書

【実践者】

氏名	増田 有貴	学校名	新潟県村上市立荒川中学校
担当教科等	英語	対象学年（人数）	1 学年（72 名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2020 年 9 月 ～ 2021 年 2 月		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域：総合的な学習の時間、道徳		
2. 単元名：「地域から発信！SDGsの視点で、グローバルな生き方を学ぼう ～持続可能でレジリエントな社会を目指すには？～」		
3. 授業テーマ（タイトル）と単元目標 授業テーマ： 「持続可能でレジリエントな社会を考える」 単元目標 (1) SDGsの学習を通して、諸外国と日本、さらには自分とのつながりを実感し、地域や世界についての課題意識をもつ。（知識及び技能） (2) 様々な課題解決の事例やインタビュー等から、持続可能でレジリエントな社会のあり方を考え、それを自分の言葉で表現することを通し、他者に働きかけるための発信力を高める。（思考力、判断力、表現力） (3) SDGsやレジリエンスの学びを自らの行動に活かしたり、自分ができる社会貢献について考えたりする。（学びに向かう力） 関連する学習指導要領上の目標： ●横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。（総合的な学習の時間） ●[国際理解、国際貢献]世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。（道徳）		
4. 単元の評価 規 準	①知識及び技能	● 国際協力の学習、新潟巡検を通して学んだ知識やその意義等について、SDGsを視点として自分の言葉でまとめることができる。
	②思考力、判断力、 表現力等	● 様々な課題解決の事例やインタビュー等から、持続可能でレジリエントな社会のあり方を考え、それを自分の言葉で表現することを通し、他者に働きかける発信ができる。
	③学びに向かう力、 人間性等	● SDGs やレジリエンスの学びを自らの行動に活かしたり、自分ができる社会貢献について考えたりしている。 ● 追及したい分野について、積極的に他者とコミュニケーションを取ったり、調べたりして深めようとしている。 ● レポートやプレゼン作成の過程で、何度も推敲しながら論理的で相手に伝わるような発信を目指している。

5. 単元設定の理由・単元の意義 (児童／生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 2020年は世界中が新型コロナウイルスに翻弄され、未曾有の経済危機に瀕した。近年は自然災害も頻発している。VUCAの時代といわれている今、SDGsの達成を現実的にするには、「これからありうる社会」を想定し、対応していく必要がある。そこで「持続可能性」と「レジリエンス」を総合的な学習の時間の視点の核とし、単元のテーマを「新潟から発信！SDGsの視点で、グローバルな生き方を学ぼう～持続可能でレジリエントな社会を目指すには？～」と設定した。 【単元の意義】 本単元では、震災被災者の想いや国際協力の学び、県内でSDGsに取り組む方々へのインタビュー活動を通し、生徒自信が「持続可能でレジリエントな社会づくりに大切なことは？」という問いに5ヶ月間向き合う。中学1年生にとって難しい問いであると予想されるが、正解のない間にと共に生きる逞しさ、しなやかさを育みたい。また、インタビュー活動では大人と交流する場面がある。そのような経験も踏まえた本単元での学びが探究活動の土台となり、2年目、3年目は生徒自身で自走できるようになってほしいと願う。そのために視点や視座を高め、多様な他者とコミュニケーションをとりながら学びを深め、他者に働きかける発信力を高めるための1年としたい。以上のことをふまえた単元デザインとした。 【児童／生徒観】 1学年の生徒数は72名。小学校の総合的な学習の時間では、地域資源や水害の歴史、環境に関する地域学習、発信活動の経験がある。生徒は1学期から総合的な学習の時間にとっても意欲的に参加し、学びを深めている。6月にSDGsを導入した際は、自主学习ノートに調べた内容をまとめた生徒が複数いるほど、世界の問題に関心が高い。一方で、学びを自分の言葉で言語化したり論理立てて記述したりすることが苦手な生徒が多い。そのため、本単元ではアウトプットの場を段階的に設定し、生徒の発信力を高めることに重きを置くこととした。また、他者に発信し意見交流をする中で自身の考えを整理・再考させるねらいがある。 【指導観】 前半は「レジリエンス」に繋がる概念を道徳の授業で導入した上で、国際協力の事例からイメージを掴み、地域資源との関連を考えながら自分の足元へと視点を移していく。単元のメインであるオンライン新潟巡検では、班の探求テーマをもとに県内で活動する方々にインタビューをすることで、身近な取組が広い世界の課題解決に繋がることを学ぶ。最後にアウトプットを通して、学びを整理し、他者へ働きかけるプレゼンを行う。1年間の学びの軌跡を生徒が確認できるよう、学年の廊下の掲示物は全て総合関係とした。また、ワークシートの記述から見える生徒の変容等を丁寧に見取り、一人ひとりにコメントを返すことで誰一人取り残さない授業を心がけた。
--	--

時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1 学期 【総合時間】	(1) SDGs を視点に、2030 年の世界と地域を考える。 (2) 中学生にできる地域貢献×SDGs を考える。 (3) SDGs を視点に、地域の課題を見直す。(外部連携) (4) 地域貢献活動に参加する(地域の特産品であるラベンダー園の整備作業)。			(1)～(4)の学びをレポートにまとめる
1 【本時①】	【道徳】 つながる想い	● 東日本大震災の被災者に思いを馳せることで、普段の日常が当たり前ではないこと、予測のつかない事態が起こりうる世界に生きていることに向き合う。 ● 国籍や住んでいる場所など関係なく、お互いに助け合うことの大切さに気づき、他者貢献・国際貢献をしようとする意欲をもつ。	● 写真をもとに東日本大震災の被害状況を振り返り、俳句を読んだ女川中学校の生徒の心情に思いを馳せる。 ● 震災後の世界中からの支援を知り、相互支援の在り方を考える。(パラグアイからの豆腐100万丁プロジェクト) ● 全国各地、そして世界の国々から俳句の下句を紡ぐ取り組みが行われたことを知り、この「想いを紡ぐ取組」がどのような結果をもたらしたか、考える。 ● 自然災害や新型コロナウイルス感染症などの諸問題がこれからも世界中で起こりうる状況の中で、「これから自分はどういう風に生きていきたいか」考える。	● 『みあげれば がれきの上に こいのぼり』山中勉(日本宇宙フォーラム) ● 2019年教師海外研修で撮影したパラグアイのラパス日本人学校での授業写真 ● 2019年教師海外研修参加の鈴木航太先生と玉腰朱里先生からのメッセージ

2	【総合学習】 レジリエントな社会を考えよう	● 現在、不確実な時代を生きていることを認識するとともに、国際協力の事例から、レジリエントな社会づくりに大切なことについて考えをもつ。	● 昨今のグローバル 이슈、COVID19、地域の課題等がある中で、SDGs 達成のためには「ありうる社会」にも対応していく必要があることを押さえ、そのために「持続可能で竹のように強くしなやかな社会（レジリエントな社会）」を目指していくことを確認する。 ● 丸森町とザンビアの草の根技術協力を事例として、「竹のように強くしなやかな社会（レジリエントな社会）に大切なこと」についてグループで考え、画用紙にまとめる。ワールドカフェ方式で共有する。	● 丸森町とザンビアの草の根技術協力に関する写真、新聞記事、当事者の声
3	【総合学習】 地域の魅力や強みから、レジリエントな社会を考えよう	● 地域資源を理解し、レジリエントな社会にどのように繋がるか、考えをもつ。	● グループごとに、レジリエントな社会作りにつながる地域の強みや魅力（地域資源）を書き出す。 ● 地域の強みや魅力がどのようにレジリエントな社会に繋がるか考え、画用紙にまとめる。（①レジリエントな地域、②レジリエントな個人、③レジリエントな国） ● ワールドカフェ方式で共有する。 ● レジリエントな社会作りについて地元企業を例にイメージをもち「新潟巡検×SDGs」に繋げる。	● 株式会社 開成の循環型農業の例 (https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokusan/recycle/h25_02/pdf/doc2_2.pdf)
4 9	【総合学習】 オンライン新潟巡検×SDGs [事前学習]	● 探求テーマをもとに、SDGs の視点で調べ学習を行い、疑問を明確にした上で、自分の言葉でオンライン新潟巡検の目的を語るができる。	● 班ごとに探求テーマを選択する。 ● インタビュー先の調べ学習を通して、SDGs との関連や探求テーマに関する疑問を明確にする。 ● 事前学習合同発表会の場において、他の班員にオンライン新潟巡検の目的を自分の言葉で語り、意見交換をする。	
10	【総合学習】 オンライン新潟巡検×SDGs [インタビュー活動本番]	● インタビュー活動を通して、SDGs を実践する方々から世界や地域の諸問題を解決するための取組や考え方を学ぶことで、「持続可能でレジリエントな社会づくりに大切なこと」を考える。	インタビュー活動を通して「持続可能でレジリエントな社会づくりに大切なこと」を考える。	
			【各班の探求テーマ】 「電気自動車を活用した地域 SDGs の取組とは?」「地域の再生可能エネルギーで地球温暖化 STOP!」「持続可能な社会づくりのための銀行の役割とは?」「SDGs×スーパーの取組とは?」「島の大自然や人の温かさをたっぷり詰め込んだゲストハウスの魅力とは?」「世界農業遺産に指定された地域が目指すものとは?」「新聞社×SDGs～「地方創生プラットフォーム SDGs にいがた」が目指すこと～」「SDGs×循環×地域の特産物「バナナ」とは?」「日本初!米を原料としたバイオマスプラスチックとは?」「SDGs 未来都市の取組とは?」「外国からの持続可能な原料調達と製紙業」「村上市で南国フルーツがとれる理由は?～地域資源を活かした循環型農業～」「地球や人に優しい消費のあり方とは?水・食・エネルギー×SDGs」「人と街と地球にやさしい家づくりとは?」「SDGs に本気で取り組むコーヒー店の魅力とは?」「テクノロジー×大学×SDGs で世界の課題解決へ!」「水辺からはじまる生態系ネットワーク」	
11 16	【総合学習】 オンライン新潟巡検×SDGs [事後学習]	● 新潟巡検での学びを整理しながら、「持続可能でレジリエントな社会づくりに大切なこと」を自分の言葉で表現し、自身の行動につなげるレポートを作成する。	● 新潟巡検での学びを文章記述し、振り返りレポートを作成する。（①考えたこと、興味をもったこと、もっと調べてみたいと思ったこと、②一番心に残ったこと、心に響いた一言、③SDGs との繋がり、持続可能な社会やレジリエントな社会づくりに大切なこと、④これから自分が周りの人と協力して取り組んでいきたいこと、⑤担当者の方へメッセージ） ● 振り返りレポート内容を元に礼状を作成する。 ● 右記の項目に沿ってまとめレポート作成する。	① 自分の問題意識、関心ごと、テーマを選んだ動機、等 ② インタビュー先の事業についてどんな取組をしているか。関連するSDGs ③ 質問に対する回答 ④ 新潟巡検で特に心に響いた言葉（担当者のメッセージ） ⑤ 持続可能でレジリエントな社会づくりに大切なこと ⑥ 「持続可能でレジリエントな社会づくり」や「SDGs の達成」を目指して、自分が取り組みたいこと ⑦ 新潟巡検を終えた感想、読み手・聞き手へのコアメッセージ
17 26	【総合学習】 オンライン新潟巡検×SDGs [プレゼン大会]	● 新潟巡検での学びから「持続可能でレジリエントな社会づくりに大切なこと」を考え、他者貢献する	● レポートを使用し、4分間プレゼン大会の準備・練習を行う。 ● プレゼン大会（テーマの異なる6人グループで発表する。メンバーを変えて2回行う） ● 代表者プレゼン（学年の代表者8名のプレゼン）	

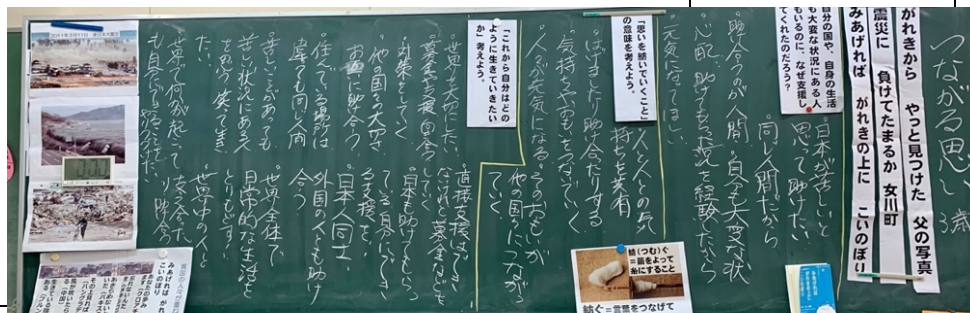
	ような論理立てたプレゼンを行う。	ンから学ぶ。)● 阿賀町立三川中学校とワライン合同発表会	
--	------------------	------------------------------	--

7. 本時の展開 (1 時間目)

本時のねらい：

- 東日本大震災の被災者に思いを馳せることで、普段の日常が当たり前ではないこと、予測のつかない事態が起こりうる世界に生きていることに向き合う。
- 国籍や住んでいる場所など関係なく、お互いに助け合うことの大切さに気づき、他者貢献・国際貢献をしようとする意欲をもつ。

過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (5分)	● 女川中学校の俳句を読み、「誰が」「どんな状況で詠んだ俳句か」想像する。 「みあげれば がれきの上に こいのぼり」「がれきから やっと見つけた 父の写真」「震災に 負けてたまるか 女川町」	● 生徒の呟きを板書する。	● 『みあげれば がれきの上に こいのぼり』山中勉 (日本宇宙フォーラム)
展開 (30分)	発問① 「どんな人が、いつ、どんな思いで書いた俳句だろう？」 ● 写真をもとに震災の被害状況を振り返り、俳句を読んだ女川中学校の生徒の心情に思いを馳せる。 ● 震災後の世界中からの支援を知り、相互支援の在り方を考える。(パラグアイからの豆腐 100 万丁プロジェクトの紹介)【他者貢献、国際貢献への意欲】 発問② 「自国や、自分の生活も大変な状況にある人もいるのに、なぜ支援してくれたのか？」 ● 全国各地、そして世界の国々から俳句の下句を紡ぐ取り組みが行われたことを知り、この「想いを紡ぐ取組」がどのような結果をもたらしたか、考える。【空間を超えて思いがつながる、共助の精神】 発問③ 「想いを紡いでいくことの意味を考えよう」 ● 2019 年の教師海外研修で、パラグアイのラ・パス日本語学校を訪れた鈴木航太先生と玉腰朱里先生の授業を知る。 ● ラ・パス日本語学校の生徒が書いた感想を読み、どんな思いで書いたのかを考える。「(豆腐 100 万丁プロジェクトについて) 助けてくれてありがとうと思った」 発問④ 日本語学校の生徒が書いた『『助けてくれてありがとう』にはどんな思いが込められている？』	● 生徒の発言を拾いながら、関連するエピソードを紹介する。 ① 過年度参加者の高田裕行先生の経験談「福島県民でさえ、県外に避難する人が多かったのに多くの外国人がボランティアに来てくれた」 ② 2016 年に教師海外研修でタイのクロントイスラムを訪れたこと、そこで震災後行われた街頭募金についても紹介。 ③ 「日本が色々な国に支援したから」という発言を聞いて、モルディブのスマトラ沖地震のときの恩返しの話をつけ足した。 ④ 鈴木航太先生と玉腰朱里先生からのメッセージを紹介	● 福島民報 (2011/5/19) パラグアイ移民栽培の大豆原料豆腐 100 万丁被災地へ ● 2019 年教師海外研修で撮影したパラグアイのラパス日本人学校での授業写真
まとめ (15分)	発問⑤ 自然災害や新型コロナウイルス感染症などの諸問題がこれからも世界中で起こりうる状況の中で、「これから自分はどのように生きていきたいか」 ● 「授業を通して考えたこと」を記述する。	● より多くの生徒の声を拾い、板書する。	



8. 評価規準に基づく本時の評価方法 ● 予測のつかない事態が起こりうる世界に生きていることを認識し、それをふまえた上で、「今後の自分の生き方」を考えることができる。【ワークシートの記述発問⑤】 ● 国籍や住んでいる場所など関係なく、お互いに助け合うことの大切さに気づき、他者貢献・国際貢献をしようとする意欲をもつ。【ワークシートの記述発問②、感想】	
9. 学習方法及び外部との連携 ● 過年度参加者からのメッセージ（1 時間目 道徳授業） 2016 年度教師海外研修参加 高田裕行先生、2019 年度教師海外研修参加 鈴木航太先生、玉腰朱里先生 ● オンライン新潟巡検×SDGs でお世話になった企業、団体、大学 様 新潟国際情報大学 様、新潟スワンエナジー株式会社 様、第四銀行 様、原信ナルスオペレーションサービス株式会社 様、栗島ゲストハウス おむすびのいえ 様、トキとの共生をめざす米つくりを行う農業従事者、新潟日報社 様、シモダ産業株式会社 様、株式会社バイオマスレジ南魚沼 様、見附市（SDGs 未来都市）様、北越コーポレーション株式会社 様、株式会社 開成 様、フェアトレード推進委員会 様、株式会社テクノシステム 様、株式会社ナレッジライフ 様、株式会社 鈴木コーヒー 様、長岡技術科学大学 様、水の駅「ビュー福島潟」様 ● オンライン合同発表会でお世話になった 阿賀町立三川中学校 中村太郎先生、1 学年生徒の皆様	
10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組 ● SDGs コーナーの設置 教室近くのラウンジに、SDGs に関連する資料や書籍、JICA 発行の資料等を置き、誰でも気軽に手に取れるようにしている。 ● 廊下掲示物の充実 担当する 1 学年廊下の掲示物を全て総合学習に関連するものを掲示している。学びの軌跡を掲示することで生徒の振り返りの機会になると共に、他学年の職員の目に触れるようにし横断的な教科指導に繋げてもらうためである。 ● 国際理解教育プレゼンテーションへの参加 有志生徒を募り、『食から考える『世界』と『あしもと』』、「竹のように…！」をテーマに 2 チームが出場した。9 月～12 月の間、生徒が主体となり、アフリカへの募金活動やフードドライブ、SDGs アクションの呼びかけなど全校生徒を巻き込んだ活動を行なった。 ● 授業実践データの共有 2019 年より、希望があった学校内外の職員・友人に、授業で使用した PPT、ワークシート、資料等のデータを共有している。 ● 校外での授業実践発表 2020 年 11 月 15 日 英語授業研究学会・関東支部 第 26 回 秋季研究大会 実践発表 2020 年 11 月 19 日 長岡市三島郡進路指導キャリア教育協議会研修会 実践発表 2021 年 2 月 2 日 長岡市立大島中学校職員研修講師 2021 年 2 月 18 日 長岡技術科学大学・長岡工業高等学校専門学校 SDGs 講演会 実践発表	

【自己評価】

11. 苦労した点	『レジリエンス』をどのように生徒や学年部の職員にイメージ・定着させ、授業展開していくかが 1 番の課題で、手探りの中でのスタートだった。本時の道徳授業がレジリエンスの入り口になったことは生徒にとって理解しやすかったようで、次の授業では「防災」を視点にレジリエンスのイメージマップを作成する生徒の姿が見られた。それを 3 時間目に「国のレジリエンス」「地域のレジリエンス」「個人のレジリエンス」と発展させたかったが、時間も限られておりあまり深められずに終えてしまった。最後に行ったプレゼンの原稿を読むと、「持続可能でレジリエントな社会づくりのあり方」について、単元前半の内容との関連が薄まってしまったことから、「持続可能性」と「レジリエンス」を軸として単元を貫くことの難しさを感じた。
12. 改善点	「レジリエンス」を「竹のように強くしなやかであること」と生徒にイメージをもたせたが、「実際にそのような『国』『地域』『個人』とはどのような状態か」、「何が必要か」、議論する時間を設けるとよい。生徒だけだとアイデアが偏りがちなので、学校職員や地域の大人、新潟巡検の担当者等と議論すると、より考えの広がりがあり面白い。「レジリエンス」「持続可能性」は今後も探究活動の主軸として継続して取り扱っていく。



竹のように、強く、しなやかな
社会を作るには、
「どんなことが必要(大切)か」？



竹のように、強く、しなやかな
社会を作るには、
「どんなことが必要(大切)か」？





竹のように、強く、しなやかな
社会を作るには、
「どんなことが必要(大切)か」？



竹のように、強く、しなやかな
社会を作るには、
「どんなことが必要(大切)か」？



班ごとに2列で整列して座ってください！

全部で8列

スクリーン

2組6班

2組1班

1組6班

1組1班

2組7班

2組2班

1組7班

1組2班

2組8班

2組3班

1組8班

1組3班

2組9班

2組4班

1組9班

1組4班

2組5班

1組5班

START at 13:45



今年の総合的な学習の時間のテーマ

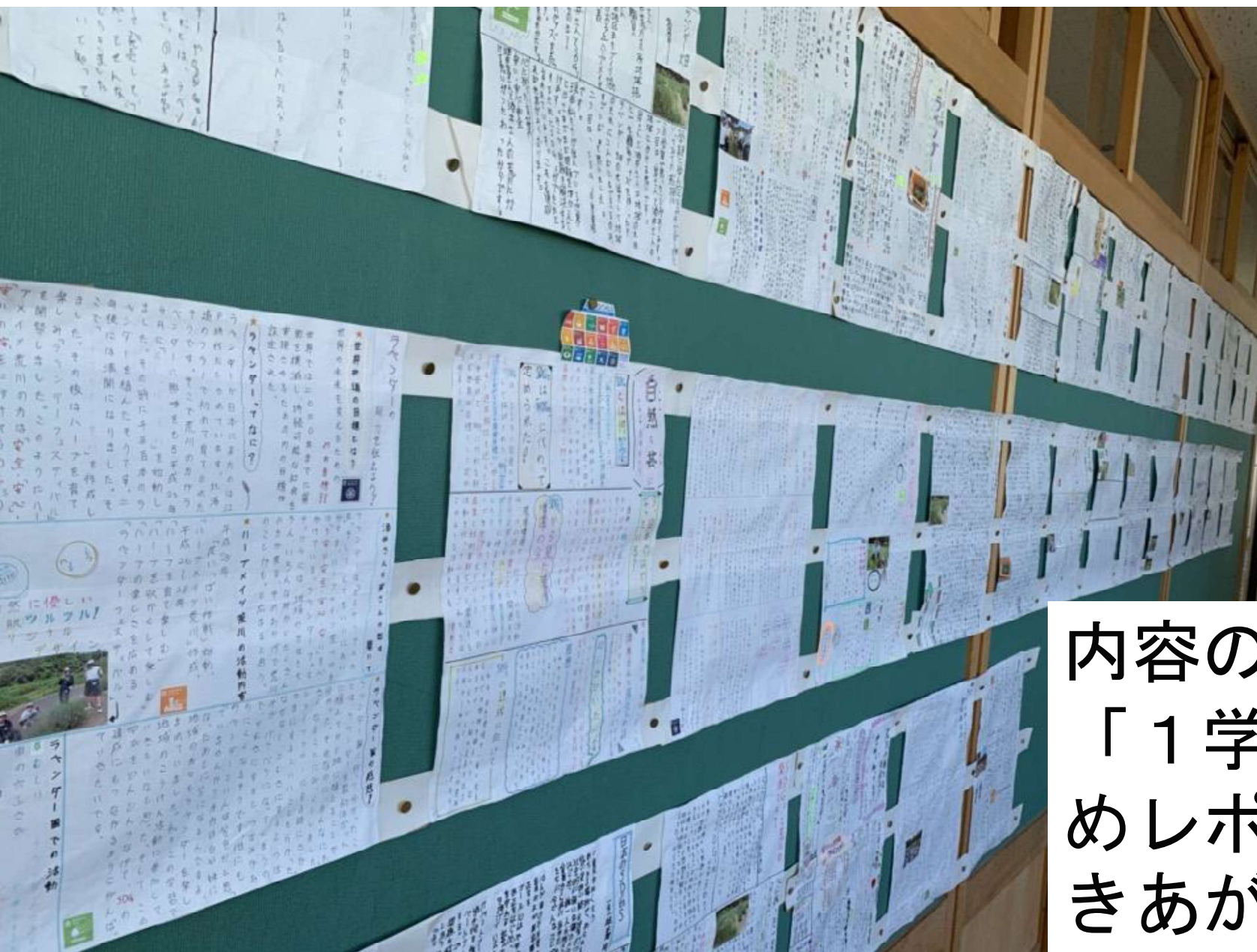
新潟から発信！ **SDGs**の視点で グローバルな生き方を学ぼう

～持続可能でレジリエントな社会を目指すには？～



1学期の振り返り

- 5月・ ・ 小学校の総合的な学習の時間を振り返る
- 6月・ ・ SDGsを通して世界を見る
地域貢献活動×SDGsを考える
岸さんと酒井さんより「荒川地区の今」
ラベンダー園での地域貢献活動
- 7月・ ・ 1学期の総合まとめレポート作成。



内容のとても濃い
「1学期総合ま
とめレポート」が
できあがりました！



8月28日
レポート鑑賞会







レポート鑑賞の観点

①読みやすさ

②タイトルや見出しの工夫

③SDGsとの関連

④説得力、読み手への働きかけ

③SDGsとの関連

- (〇〇さんのレポート) **SDGs**の今の現状について書いてあり、どのくらい達成しているかが分かった。
- (〇〇さんのレポート) ラベンダーと**SDGs**の連鎖について図で書いていて見やすかった。
- (〇〇さんのレポート) 「**SDGs**の陸の豊かさを守る」に注目してラベンダー園と関連づけている。

④説得力、読み手への働きかけ

- （〇〇さんのレポート）目標を達成するためには「ポイ捨てをしないように心がける」などのことが書いてあったので、自分も目標に向かって小さなところから始めようと思った。
- （〇〇さんのレポート）「自分たちの生きていく地球を守りたいと思った」と書いていてなるほど、と思った。
- （〇〇さんのレポート）「どうすれば目標を達成できるか？や「自分ができること」を書いていて説得力があった。



9月2日、9日
道徳授業「つながる思い」

〔 1 〕

「自分の国や、自身の生活も大変な状況にある人もいるのに、なぜ支援をしてくれたのだろう？」

〔みなさんから出た考え〕

- **日本のことが好きだから。**
- **自分に同じ苦しい状況にあるので助けたいと思ったから。**
- **日本がこれまで色々な国に支援をしてくれたから。恩返し。**
- **同じ人間として助け合うのが当たり前。**

〔みなさんから出た考え〕

- 人のためにすることが巡り巡って自分たちのためになるから。
- 心優しいから。
- 貧しくても、みんなで協力して困難を乗り越えていこうと思った。
- 災害の恐ろしさを知っているから
- 世界は一つだから。 他

〔 3 〕

「自然災害や、新型コロナウイルス感染症などの諸問題が、これから世界中で起こりうる状況の中で、『これから自分はどのように生きていきたいか』考えよう」

〔みなさんから出た考え〕

- **自分ができることを精一杯行う。**
- **命を大切に生きていく。**
- **自分のことばかりではなく周りの人のことも考えていきたい。**
- **今までの日常を大切にする。**
- **備えをしっかりとる。**
- **国内や海外で災害があった際、ボランティアや募金活動に携わりたい。**

〔みなさんから出た考え〕

- **自分が住んでいる地域、国のことじゃないから関係ない、と考えず、同じ地球に住んでいる人だから、自分のこととして、自分も同じ状況だったら、と考える。**
- **苦しい思いをしている人たちの思いを考えて行動する。**

〔みなさんから出た考え〕

- **世界を大切にしたい。**
- **心に余裕をもち、優しくなりたい。**
- **日本人同士、外国の人とも助け合う。国を超えて手を取り合う。**
- **心の支援をSNS等を利用してできるとよい。思いを紡いでいく。**
- **被災した方々に募金や支援を通して向き合えるようにする。 他**

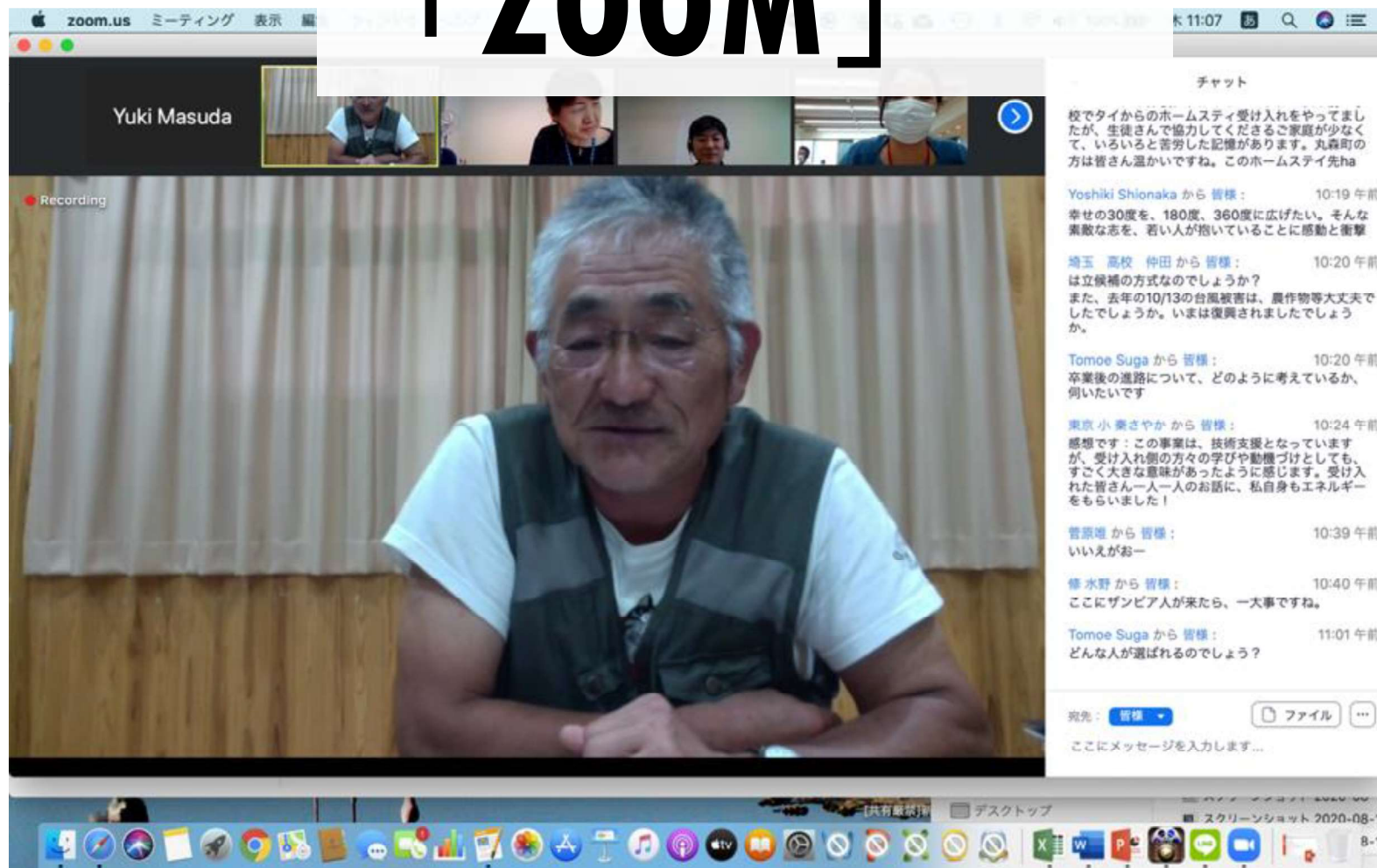
2学期・3学期の予定

- ・9月～10月・ ・新潟巡検の事前学習と準備。
- ・11月11日～11月27日

オンライン**新潟巡検**ウィークスタート！
「**SDGs**に関する様々な取組を知る」

- ・12月・ ・ ・新潟巡検のまとめレポート作成
- ・1月・ ・ ・プレゼン大会
- ・2月・ ・ ・進路学習
- ・3月・ ・ ・一年間のまとめ

「ZOOM」



今年の「新潟巡検」はオンラインで行います！

2019年11月22日

新潟巡検 × SDGs



訪問先

北越コーポレーション(株)様

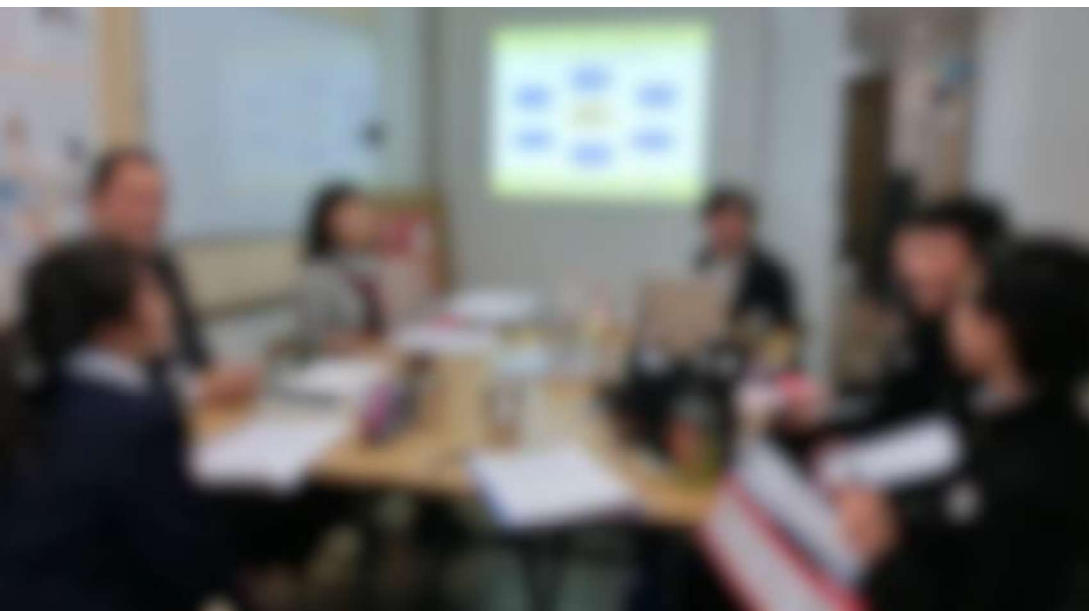
「外国からの持続可能な
原材料調達と印刷産業とメディア」

14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう





訪問先

(株)第四銀行 様

訪問先

一般社団法人
「おらって」にいがた市
民エネルギー協議会 様



「持続可能なエネルギー生産」

「気候変動・地球温暖化・異常気象の
実際と対策を学ぶ」

訪問先

新潟地方気象台 様

11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



訪問先

新潟市消防局 東消防署 様



「食×SDGs～地産地消と食品ロス対策～」

訪問先

一正蒲鉾(株)様

訪問先

フードバンクにいがた 様

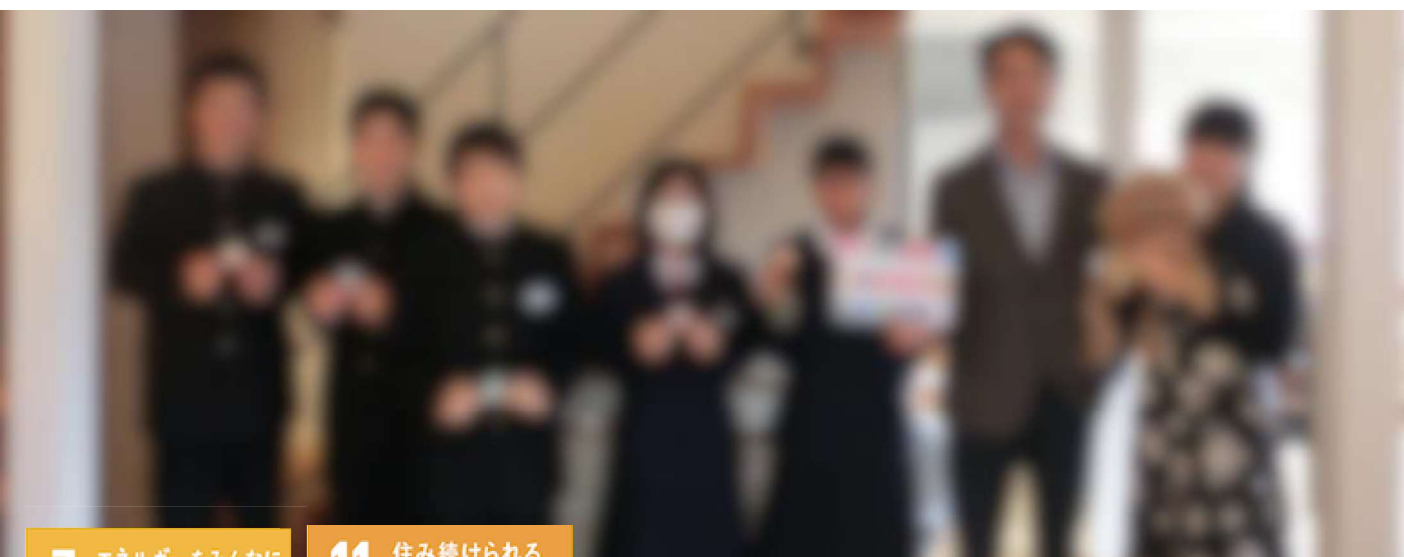


1 貧困を
なくそう



2 飢餓を
ゼロに





訪問先

日本エコハウス大賞 のお宅を見学

(オーガニックスタジオ新潟(株)様)

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



訪問先

東北電力(株)様

「省エネハウス×SDGs
～日本エコハウス大賞受賞の要因を探れ～」





**この世界を、
持続可能にするために**

SDGs

Sustainable Development Goals

(持続可能な開発目標)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界をよりよくする17の目標

2030年までに

達成すべき

17のゴール(目標)

「世界共通の目標」

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



「誰も置き去りにしない
世界をつくること」

No one will be left behind

世界を変革させる。

世界を変えるための17の目標

**Transforming
our world.**

私たち一人ひとりが主役。

様々な諸問題をヒトゴトにしない

現在の村上市(特に荒川地区)の課題は？

- 田んぼの減少
- 少子高齢化
- 人口減少
- 遊ぶ場がない
- 発信力・PR不足
- 空き家
- バイク音
- 公共物への落書き
- 海や川を綺麗に
- ポイ捨て
- 医療（コロナ対策）
- 災害対策（洪水）
- あいさつ
- 荒川の魅力を残す
- SDGsの達成

6月4日の授業より

2020年も・・・



学校の休校の影響は
世界の十数億人に

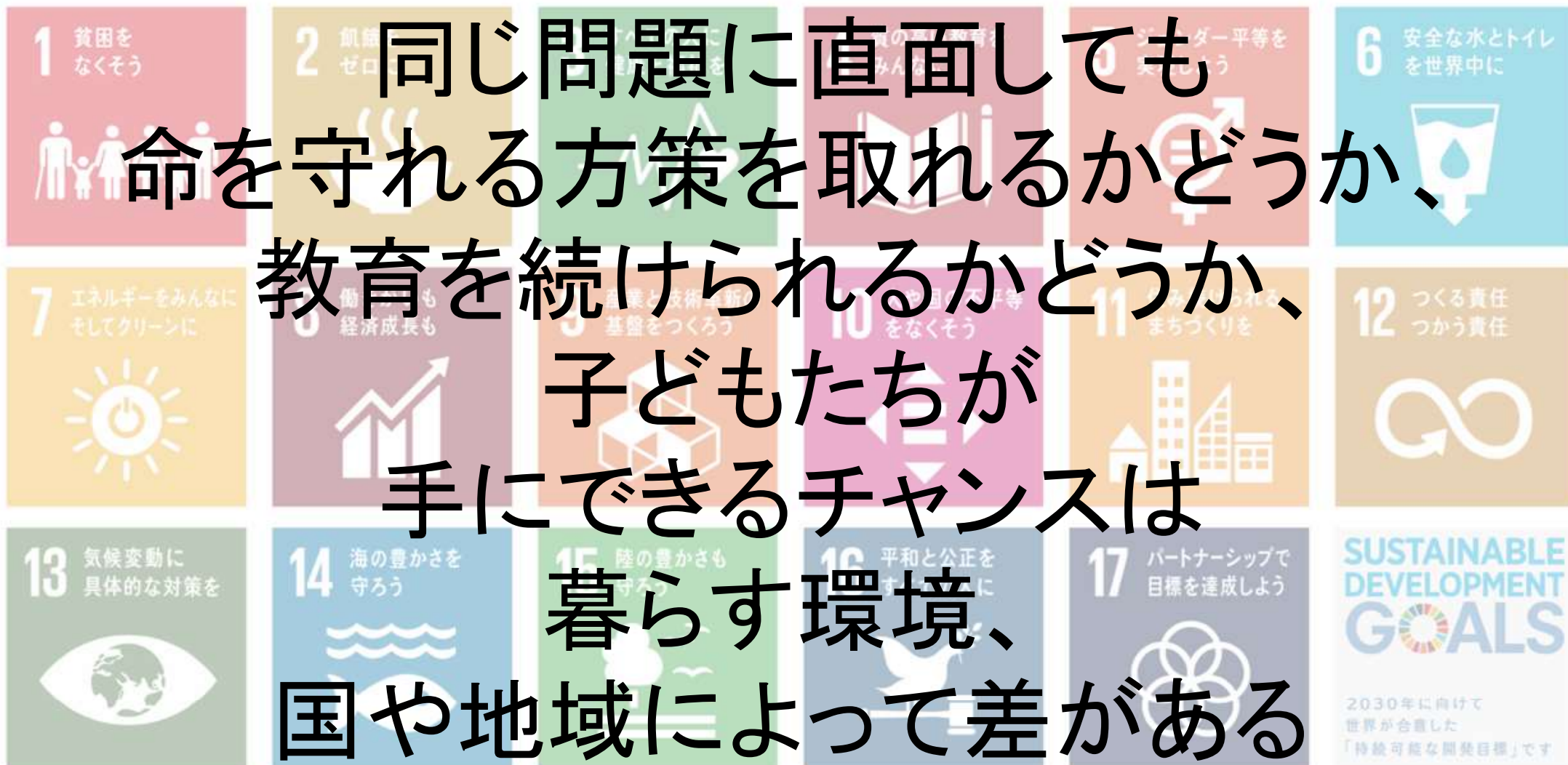


感

世界の学校の43.5%に
石けんで手洗いできる
設備がない



同じ問題に直面しても
命を守る方策を取れるかどうか、
教育を続けられるかどうか、
子どもたちが
手にできるチャンスは
暮らす環境、
国や地域によって差がある



2020年も・・・



7月 九州豪雨

アメリカの
カリフォルニア州では
49.4度を記録



米カリフォルニア州 厳しい暑さ 山 火事続く 17万世帯余停電

09/09 05:58

日本のSDGs達成状況



日本は世界で17位

2020年版

のSDGsインテックス＆ダッシュボード

<https://dashboards.un.org/profiles/JPN>

新型ウイルス感染症？ 高齢化？

生物多様性の喪失？ 食糧危機？

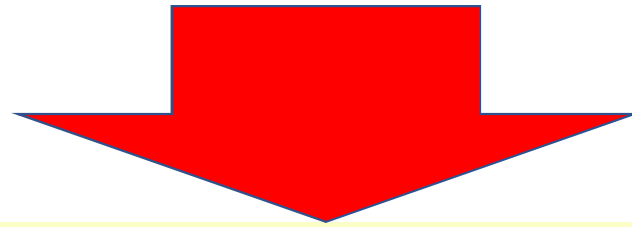
石油などの資源の枯渇（こかつ）？ 紛争？

貧困の格差？

気候変動？ 人工知能に
仕事が奪われる？

地球温暖化？ 自然災害？ 経済危機？

SDGs達成のためには、
「ありうる社会」にも
対応しなくてはいけない！

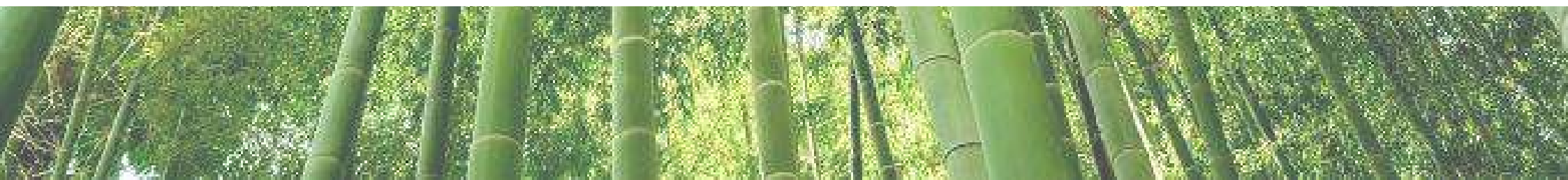


**強く、しなやかな社会を
作るには？**





竹のように、
強く、しなやかな社会を
作るには？ (レジリエントな社会)





私がこの夏に出会ったステキな町です。









宮城県

宮城県の「丸森町」

人口：およそ13,000人

「丸森町」にある「耕野地区」

人口：715人（およそ4割が65歳以上）

耕野地区



丸森町

- 課題
- ・ 少子高齢化、過疎化
 - ・ 空き家、耕作放棄地の増加
 - ・ 原発事故による風評被害で農業が衰退

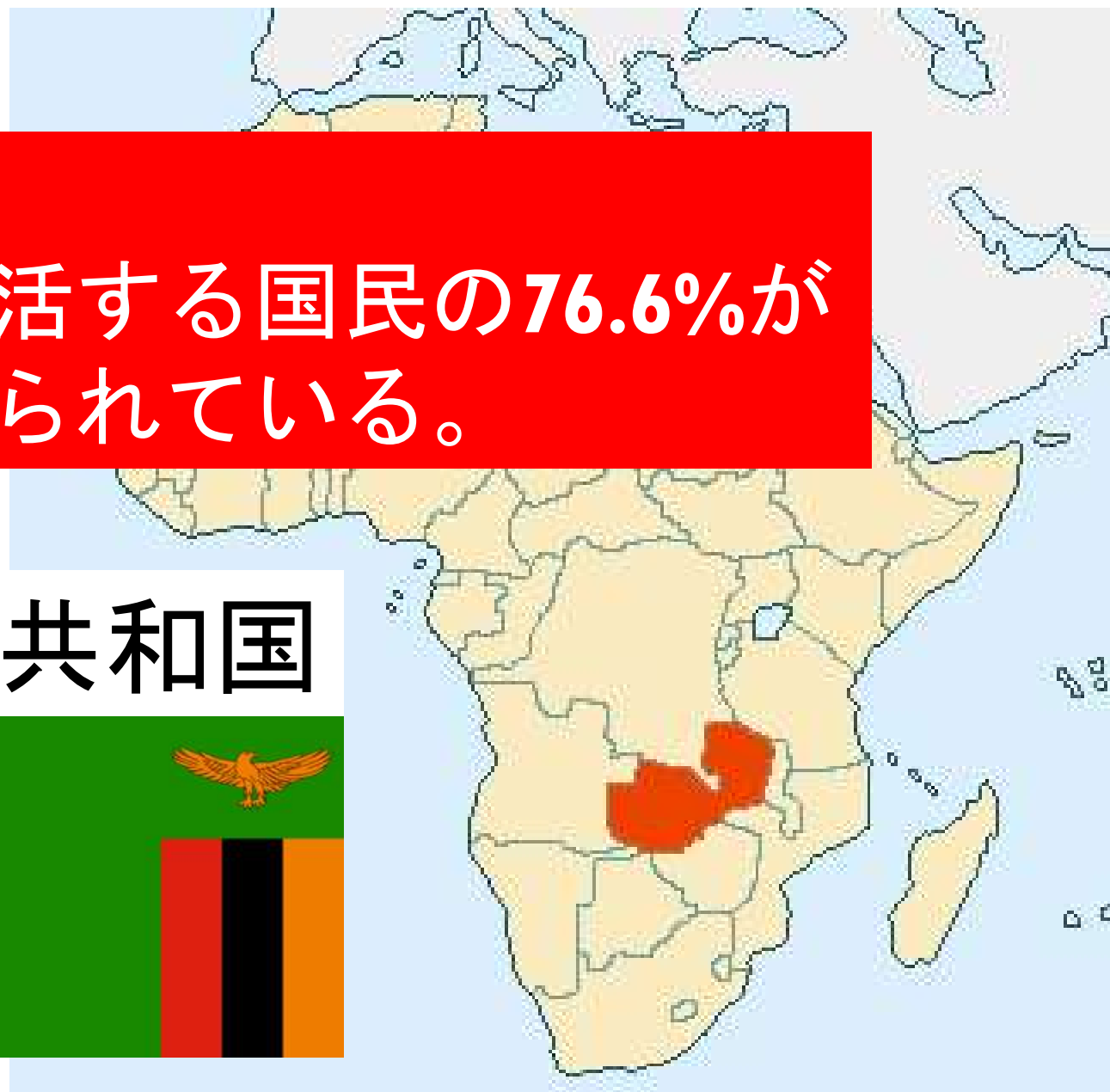




課題

- ・農村部で生活する国民の**76.6%**が貧困に苦しめられている。

ザンビア共和国





1日の食事回数



一回



発言中: R ONO

1回: 1世帯 (1%)

二回



2回: 30世帯 (34%)

三回



3回: 56世帯 (64%)

丸森町



農業の技術がある！

ザンビア



生活を改善したい！
貧困を軽減したい！

2016年～2019年

草の根技術協力事業

「ザンビア丸森プロジェクト」



ザンビアから丸森町に
研修生を受け入れた



「建物を建てる、ものを買って渡す」ではなく、
ザンビアの状況を踏まえ、できることを提案





こんにゃくづくり



かまどづくり



食品乾燥保存法



養蚕



大豆栽培普及



稲作普及



野菜栽培普及



きのこ栽培



マーケティング

ザンビアの農家への影響



農作物の種類が
増えた！

3. 農作物の生産品目数(一世帯当たり)

	ムテバ&ナチヨボ村	ゴモラ村	チトゥレ村
2014-2015	2.90	0.95	2.69
2015-2016	2.73	1.23	3.31
2016-2017	4.23	2.88	2.01
2017-2018	4.59	3.11	3.18

ザンビアの農家への影響

農作物の種類が
増えた！



食材の種類が
増えた！

ザンビアの農家への影響



食材の種類が
増えた！



栄養に関する
知識が増えた！

ザンビアの農家への影響



収入が
増えた！

貯金金額も
増えた！

ザンビアの農家の人々の声



にんじんや玉ねぎなどに関する栽培講習を受けて、「作物がよく育ちやすい土」を作ることができた！

農作物の種類が増えたことによって、天候が悪く育たない農作物があっても、他の農作物を売ることができた！

丸森町の農家の人々の声



明るくて、歌や踊りが上手な
ザンビアの人たち。彼らが発
展、成長していこうとしてい
る。貧困から脱出しようとし
ている。そんな彼らに少しで
も役に立てたら嬉しい。

ザンビアとの技術協力や交流を
通して、世界観が広がった！

丸森町の農家の人々の声



アフリカじゃなくて「ザンビア」、黒人じゃなくて「ジョセフィン」。遠いけれど身近な国。



少子高齢化の日本と真逆のザンビアと交流ができて、何かが見えてくるような気がします。

丸森町の農家の人々の声



高校生

「ザンビアの人たちと
出会い、幸せの角度を
30度から150度、180度
へと広げようと思っ
た。」

丸森町の

TOKYO 2020

トップ

日程

競技一覧

会場施設

チケット

注目選手

宮城) 被災地、丸森にザンビアから激励 五輪と農業の絆

有料会員記事

大宮慎次郎 2019年12月11日 3時00分



シェア



ツイート



ブックマーク



スクラップ



メール



印刷

[list](#)

0

た。被災地やルサカ州の農村で農業やキノコ栽培を指導し、市場を開拓した。米産の増のため、トウモロコシの粉にするザンビアの主産「シマ」をアレンジしたイモ餅やお好み焼きを販売。報告会でイモ餅の試食を勧める陣だった。



ザンビアの主食をアレンジしたイモ餅を販売するメンバー

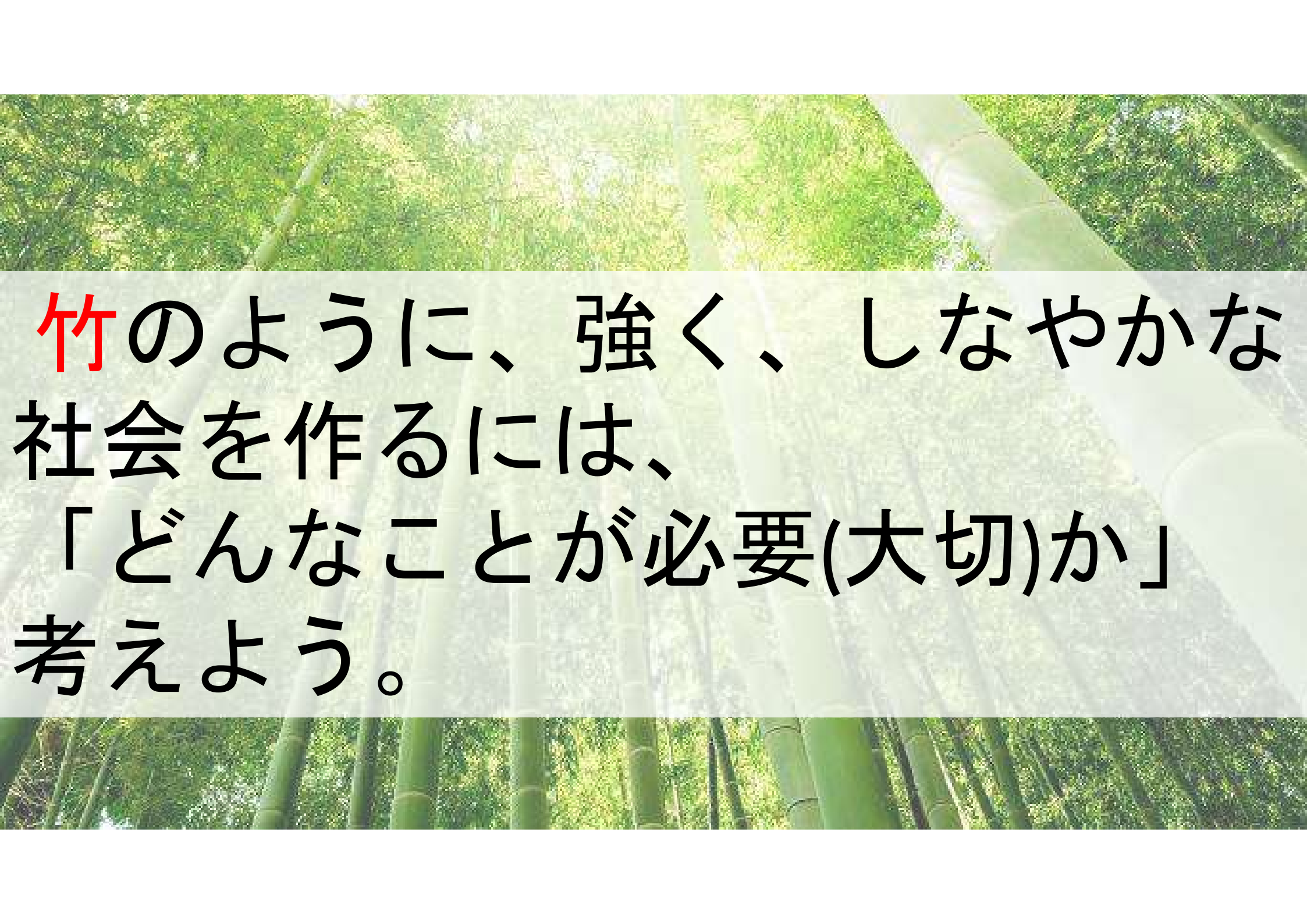


現地で指導する石塚さん（右から2人目、ザンビア・ルサカ州、石塚さん提供）



10月の台風19号に襲われた宮城県丸森町に、アフリカのザンビアから見舞いの声が届いている。町は2020年東京五輪・パラリンピックのザンビアのホストタウン。台風被害で五輪関連行事がどうなるか不透明だが、農業を通じて長年交流を続ける人たちは、五輪でザンビアとの縁が深まることを期待している。

「私たちの第二の故郷である丸森町は、災害にもくじけないと信じています」



竹のように、強く、しなやかな
社会を作るには、
「どんなことが必要(大切)か」
考えよう。

【宿題】

レジリエントな社会づくりにつ
ながる「村上市の強み（魅力）
は何か」、できるだけたくさん
考えよう。

新潟から発信！SDGs の視点で、グローバルな生き方を学ぼう

～持続可能でレジリエントな社会を目指すには？～

1 年 組 番 氏名〔

〕

★今日の目標★

竹のように「強く、しなやかな社会」を作るために
必要（大切）なことを考えよう。

★メモ★

〔1〕竹のように「強く、しなやかな社会」を作るために、「どんなことが必要（大切）か」考えよう。（できるだけたくさん、思いつく限り書いてみよう）

〔2〕今日の授業の感想を書こう。（気づいたこと、分かったこと、考えたこと、疑問に思ったこと、など）

※グローバルとは・・・地球規模の視野（グローバル）で考えながら、地域（ローカル）で課題解決に向けて行動を起こすこと。
世界と足元をつなげる。Think Globally, Act Locally.

※レジリエントとは・・・予期せぬ事態が起きたときに、早く立ち直れること、復元力、強靱（きょうじん）性、弾力性。
どれだけ影響を抑えられるか、予防できるか。しなやかさ、柔軟さ。竹のようなイメージ。

※持続可能とは・・・地球上にある豊かな自然や資源を未来に残し、誰一人取り残すことなく幸せに暮らせること

1 年生総合的な学習の時間

9月11日（金）5限

新潟から発信！SDGs の視点で、グローバルな生き方を学ぼう

～持続可能でレジリエントな社会を目指すには？～

1 年 組 番 氏名〔

〕

★今日の宿題★

レジリエントな社会づくりにつながる
「村上市の強み（魅力）は何か」、
できるだけたくさん考えよう。

※レジリエントとは・・・予期せぬ事態が起きたときに、早く立ち直れること、復元力、強靱（きょうじん）性、弾力性。
どれだけ影響を抑えられるか、予防できるか。しなやかさ、柔軟さ。竹のようなイメージ。

1 年生総合的な学習の時間

9月11日（金）5限

新潟から発信！SDGs の視点で、グローバルな生き方を学ぼう

～持続可能でレジリエントな社会を目指すには？～

1 年 組 番 氏名〔

〕

★今日の宿題★

レジリエントな社会づくりにつながる
「村上市の強み（魅力）は何か」、
できるだけたくさん考えよう。

※レジリエントとは・・・予期せぬ事態が起きたときに、早く立ち直れること、復元力、強靱（きょうじん）性、弾力性。
どれだけ影響を抑えられるか、予防できるか。しなやかさ、柔軟さ。竹のようなイメージ。

「つながる思い」



2011年3月11日 東日本大震災









宮城県の女川町（おながわちょう）

女川第一中学校の生徒が
紡(うむ)いだ気持ち

忘れてる 当たり前
の
大切さ

笑いたい 僕の得意な
サッカーで

みあげれば がれきの
上に こいのぼり

がれきから やっと見つ
けた 父の写真

震災に 負けてたまる
か 女川町

女川第一中学校の生徒が
紡(つむ)いだ気持ち

ただいまと 聞きた
い声が 聞こえない

勉強中 君と笑った
あの時間

きれいな町 みんなの
笑顔で 取り戻そう

女川第一中学校の生徒
が描いた震災前の故郷
の様子



鈴木里衣菜さんの作品

女川第一中学校の生徒 が描いた震災後の故郷 の様子

神田瑞季さんの作品



9月1日
「防災の日」







電信柱撤去作業を行う
インド隊員



石巻市で活動する
南アフリカ隊員

諸外国・地域・国際機関からの救助チーム・専門家チーム等活動場所一覧(2011年9月30日現在)

120カ国以上の 国々からの支援



<https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/wakaru/topics/vol73/index.html>

Pray for Japan (日本のために祈ろう)



タイのスラムの住民が街頭募金





パラグアイ





日系人は約6000人



大豆の生産量 世界4位



パラグアイの日系移民

「日本を救うために行動を起こしたい」

豆腐100万丁
プロジェクト

2011年（平成23年）5月19日（木曜日）

被災地支援 豆腐100万丁



パラグアイ移民栽培の大豆原料 豆腐100万丁 被災地へ

石川町に1万丁 避難所で活用

本県をはじめとする東日本大震災の被災地に、パラグアイの日系移民が育てた大豆を原料にした豆腐百万丁を贈る取り組みが動き出した。十八日、県内で初めて石川町に一万丁が提供された。

提供を仲介しているのは緊急時の食糧確保と南米日本人移民農家の支援をしている会社ギアリンクス（岐

加納町長に豆腐を手渡す中田社長（中央）。右は渡辺社長

全国の中学生在が重ねた気持ち

みあげれば がれきの上に
こいのぼり

希望と共に
未来を泳ぐ

未来への川
登り続ける

あの時よりも
強くたくましく

異国の人々が重ねた気持ち

みあげれば がれきの上に
こいのぼり

あなたの歩み 共にあり
ます (クロアチア)

忘れないんだ あの太陽
を (メキシコ)

あきらめないと 空を泳
いだ (パキスタン)

その上見れば 希望の光
(バングラデッシュ)

風が吹いたら 必ず会え
る (中国)

生きている限り 幸せは
ある (ブルンジ共和国)

パラグアイ

2019年 教師海外研修





ラパス日本語学校



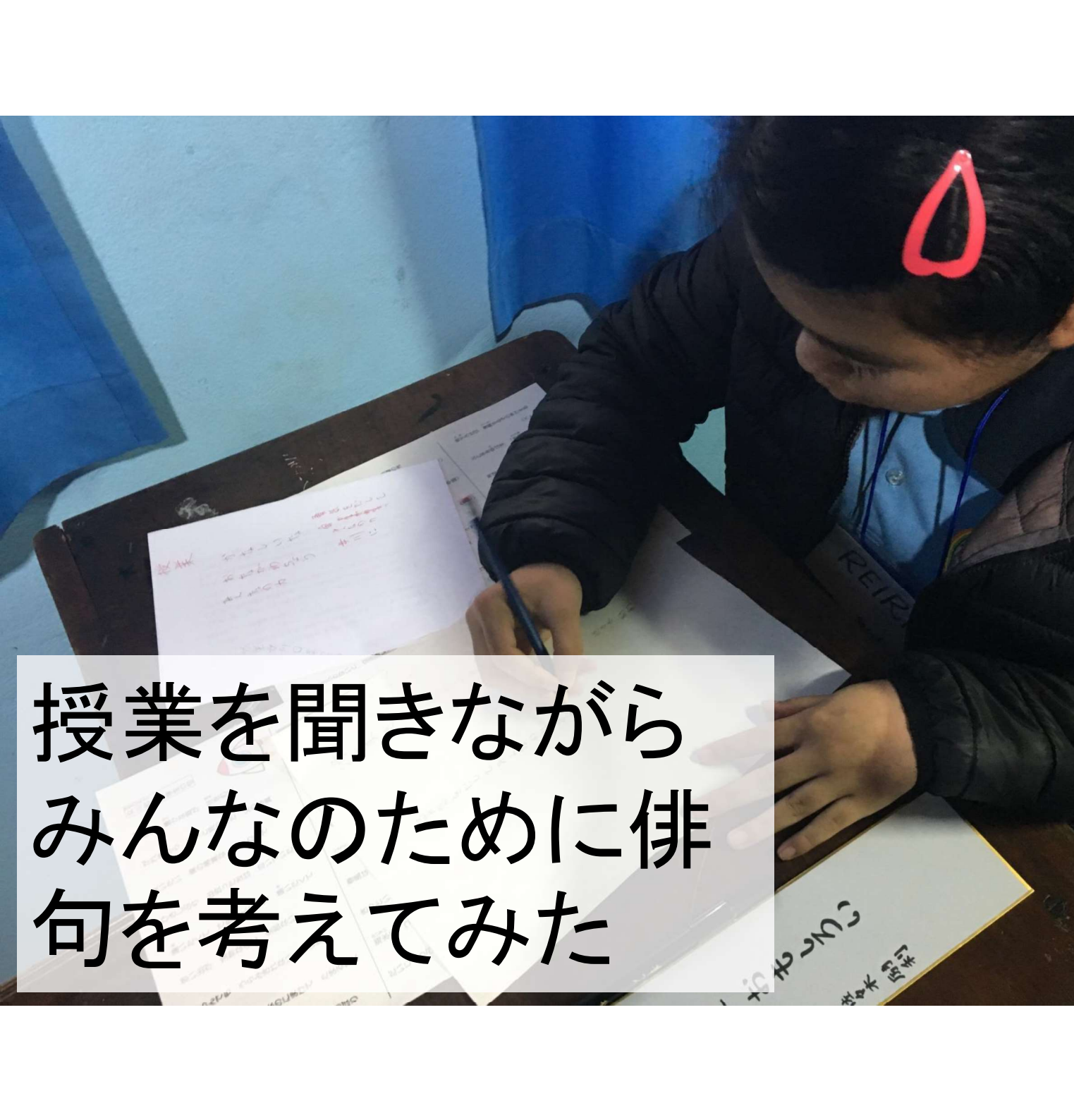
がれきから やつと

見つけた 父の写真







A person with dark hair and a red heart-shaped hair clip is sitting at a desk, writing on a notepad with a blue pen. They are wearing a dark jacket over a light blue shirt. The background is a blue wall.

授業を聞きながら
みんなのために俳
句を考えてみた

マ男気を出してみんなの力 女川に。

佐々木 励利

勇気を出して みんなの力 女川に

父親がいなくなつてもそばにいる

勇気をだしてみんなの力サ川に

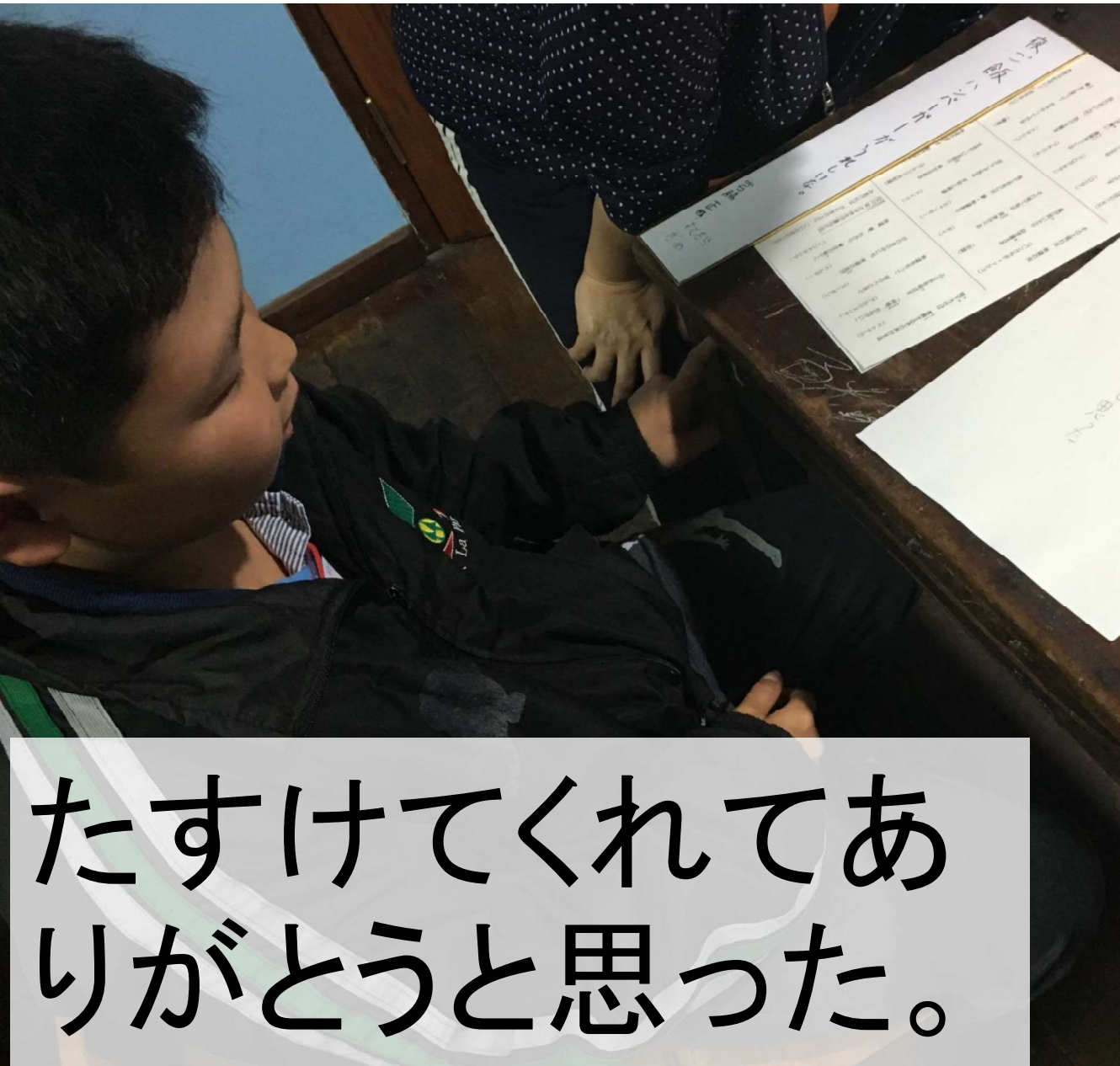
佐々木 勝利

父親がいなくなってもそばにいる

河野 錫



もしこの句が少しでもみんなの生きる希望になったらうれしいで



たすけてくれてありがとうと思った

名前(一宮 正也)

被災地の中学生の痛切な思いを真剣に読み取り自分ごととしてとらえている

言葉じゃなくても心でつながる

鈴木航太先生
(保内小学校)



日本の反対の国から「日本の文化」で支援してくれた力強さ

私たちはパラグアイのことを知っているか？

玉腰 朱里先生
(東京都立大泉高等学校附属中学校)

「つながる思い」

1 年 1 組 番 氏名〔 〕

震災に 負けてたまるか 女川町
みあげれば がれきの上に こいのぼり
がれきから やっと見つけた 父の写真

『みあげれば がれきの上に こいのぼり』
山中 勉 編著（日本宇宙フォーラム）より

みあげれば がれきの上に こいのぼり
あなたの歩み 共にあります（クロアチア）
忘れないんだ あの太陽を（メキシコ）
あきらめないと 空を泳いだ（パキスタン）
その上見れば 希望の光（バングラディッシュ）
風が吹いたら 必ず会える（中国）
生きている限り 幸せはある（ブルンジ共和国）

〔1〕自分の国や、自身の生活も大変な状況にある人もいるのに、なぜ支援してくれたのだろうか？

〔2〕このように、「思いを紡いでいくこと」の意味を考えよう。

〔3〕自然災害や、新型コロナウイルス感染症などの諸問題が、これからも世界中で起こりうる状況の中で、「これから自分はどのように生きていきたいか」考えよう。

〔4〕今日の授業の感想を書こう。（気づいたこと、分かったこと、考えたこと、など）